



Video Encoder

取扱説明書


DE-1104

DE-1108



はじめに

本取扱説明書では、(株)IDISの製品であるDirectIP™ Video Encoder（ビデオエンコーダ）の設置および運用のための基本的な説明を記述しています。



本機をはじめてご使用になるユーザーの方はもちろん、以前から類似装置を使用してきたユーザーの方でも、ご使用前には必ず本取扱説明書をよく読み、注意事項をご確認の上、本機を使用してください。なお、安全上の警告および注意事項は製品を正しく使い危険や財産上の被害を防ぐために必ずお守りください。お読みになった後は、いつでも確認できる場所に保管して下さい。

-  規格品以外の製品を使用することで発生した損傷、または取扱説明書の使用方法を従わずに発生した製品の損傷は、当社で責任を負いかねますのでご了承下さい。
- DirectIP™ Video Encoder(ビデオエンコーダ)を初めてご使用になるか使い方がご不明な場合は、設置前や、使用中にかかわらず必ず販売店までお問い合わせ頂き専門のエンジニアのサポートを受けて下さい。
- システムの機能拡張および故障・修繕のためにシステムを分解する場合は、必ず販売店までお問い合わせ頂き、専門家のサポートを受けなければなりません。
- 本機は業務用として電磁波適合登録を済ませた装置のため、販売者またはユーザーはこの点にご注意ください。間違って販売またはご購入された場合には家庭用と交換してください。

安全上の注意事項の表示

アイコン	表記	意味
	警告	この事項を守らない場合、死亡したり重症を負う恐れがある内容です。
	注意	この事項を守らない場合、軽症を負ったり財産の損害が発生する恐れがある内容です。

本文での表記

アイコン	表記	意味
	注意	本機の機能や動作に関する内容で、必ず熟知しておかなければならない内容です。
	参考	本機を使用する上で役立つ内容です。

著作権

© 2018 (株)IDIS

本取扱説明書の著作権は(株)IDISにあります。

(株)アイデイスの許可無く取扱説明書の内容の一部または全部を無断で使用したり、複製したりすることは禁じられています。

本取扱説明書の内容は製品の機能改善などの理由により予告なく変更される場合があります。

登録商標

アイデイスとIDISはアイデイスの登録商標です。

その他の社名や製品名は当該会社が所有する登録商標です。

本文書の内容は予告なく変更する場合があります。

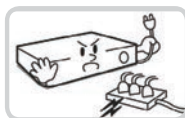
本製品には一部のオープンソースを使用したソフトウェアが含まれています。そのソフトウェアのソースコードをご希望の方にはご提供可能です。

安全上の注意事項

製品を正しく使うことでユーザーの安全を確保し、財産上の損害などを事前に防止するために必ずお守りください。

✓ 指示事項を守らない場合、死亡や重症を負う恐れがある場合。

設置について



設置する前に必ず本機の電源をOFFにしてください。本機が使用するコンセントにタコ足配線はご遠慮願います。

異常発熱や火災、感電の原因となります。



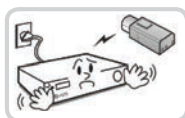
本機の内部に高電圧部分があるため、蓋を開けたり分解・修理・改造したりしないでください。

異常作動により火災や感電、けがの原因となります。



停電や落雷による被害を防ぐため、保護設備を併用してご使用ください。

火災、感電、けがの原因となります。



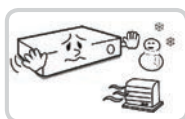
カメラの新規設置および追加工事の前には必ず本機の電源をOFFにし、製品の稼働中には絶対に信号ラインを接続しないでください。

火災、感電、けがの原因となります。



本機の後面には接続のための端子があり、壁に近すぎるところに設置すると、ケーブルが無理に曲がったり押さえつけられたりして破損する恐れがあります。壁から15cm以上の間隔を開けて設置してください。

火災、感電、けがの原因となります。



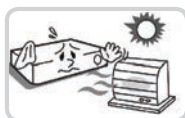
温度が高すぎる場所（40℃以上）や低いところ（5℃以下）、湿度の高いところには設置しないでください。

火災の原因となります。



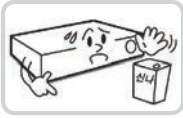
湿気、ホコリ、煤などの多いところには設置しないでください。

感電、火災の原因となります。



直射光線の当たらない涼しい場所に設置し、適正な温度を維持してください。暖房器具など、熱を発する機器の近くには設置しないでください。

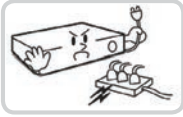
火災が発生する恐れがあります。



設置する場所は、ホコリが溜まらないよう常に清潔を保ってください。製品を掃除するときには、必ず乾いた雑巾で拭き取ってください。水やシンナー、有機溶剤は使用しないでください。

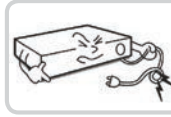
製品の表面を傷つけ、故障や感電の恐れがあります。

電源について



本機が動作するための電源電圧は、電圧の変動範囲が規程電圧の $\pm 10\%$ 以内である必要があります。電源コンセントは必ず接地してください。電源ケーブルを接続するコンセントには、ヘアドライヤーやアイロン、冷蔵庫などの消費電力の大きな器具と一緒に使用しないでください。

異常発熱や火災、感電の原因となります。



電源ケーブルを無理に曲げたり、重い物を乗せたりしないでください。

火災の原因となります。



電源ケーブル部分を無理に引き抜いたり、濡れた手で電源プラグに触らないでください。コンセントがゆるい場合は電源プラグを差し込まないでください。

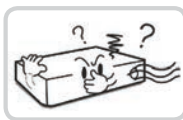
火災、感電の恐れがあります。

使用について



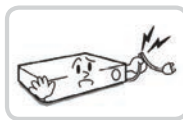
製品に水または異物が入った場合、すぐに電源プラグを抜いてサービスセンターまでご連絡ください。

故障、火災の原因となります。



異常な音がしたり臭いがしたりする場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店やサービスセンターまでお問い合わせください。

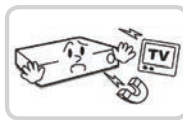
火災、感電の恐れがあります。



湿気のある床や接地されていない電源延長ケーブル、被覆の剥がれた電源コード、アースをとっていないなど、危険な状況を作らないように注意してください。問題が発生した場合は、販売店や施工業者にお問い合わせください。

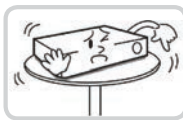
火災、感電の恐れがあります。

設置について



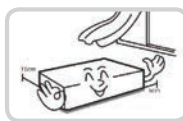
強い磁性や電波のある場所、ラジオやブラウン管式テレビなどの機器に近い場所には設置しないでください。

磁石類や電波のないところに設置してください。



水平で安定した場所に設置し、垂直に立てたり斜めに置いて使用しないでください。

機器が倒れたり落ちたりする場合、故障したり人にけがをさせたりする恐れがあります。



密閉されていない風通しの良い場所に設置し、室内の空気は適切に循環させてください。

環境が適さない場合、故障の原因となります。後面は15cm以上、側面は5cm以上の間隔を置いて設置してください。



ユーザーが電源プラグを簡単に取り外せる場所に設置してください。

製品に深刻な異常や火災が発生した場合、電源プラグを抜いて危険要素を簡単に取り除けるようにしてください。



強い衝撃や振動のない場所に設置してください。

故障の原因となります。

使用について



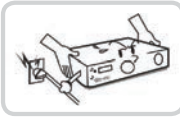
製品の上に重い物を置かないでください。

故障の原因となります。



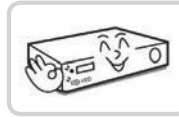
通風のために開いている溝に導電性物体が入らないように注意してください。

故障の原因となります。



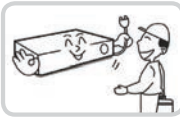
製品の稼働中には電源プラグを抜いたり、製品を動かしたりしないでください。

故障の原因となります。



製品前面の録画LEDが点滅し続けている場合、システムが正常に接続されていることが分かります。

録画LEDが点滅し続けているかどうか随時確認してください。



製品の動作状態を随時確認し、異常が見つかったときはすぐに販売店やサービスセンターにお問い合わせください。

目次

1

第1章 – 製品紹介	10
製品の特徴	10
部品の確認	12
各部分の名称および機能	12
前面パネル	12
後面パネル	13

2

第2章 – 遠隔設定	14
カメラのプロトコル	14
プロトコル変更	14
遠隔設定の実行	15
簡単設定	15
システム	16
一般	16
日付/時刻	17
ユーザー/グループ	17
ネットワーク	18
IPアドレス	18
FEN	19
ポート	20
セキュリティ	21
映像	21
カメラ	21
ストリーミング	22
プライバシーマスキング	23
オーディオ	24
入力	24
イベント	24
モーション感知	24
ビデオ信号ロス	25
タンパーリング	25

3	第3章 – IDIS Web	26
	ウェブ監視モード	28
4	第4章 – 付録	31
	設定画面の構成図(遠隔設定)	31
	トラブルシューティング(Q&A)	32
	製品の仕様	32

第1章 製品紹介

製品の特徴

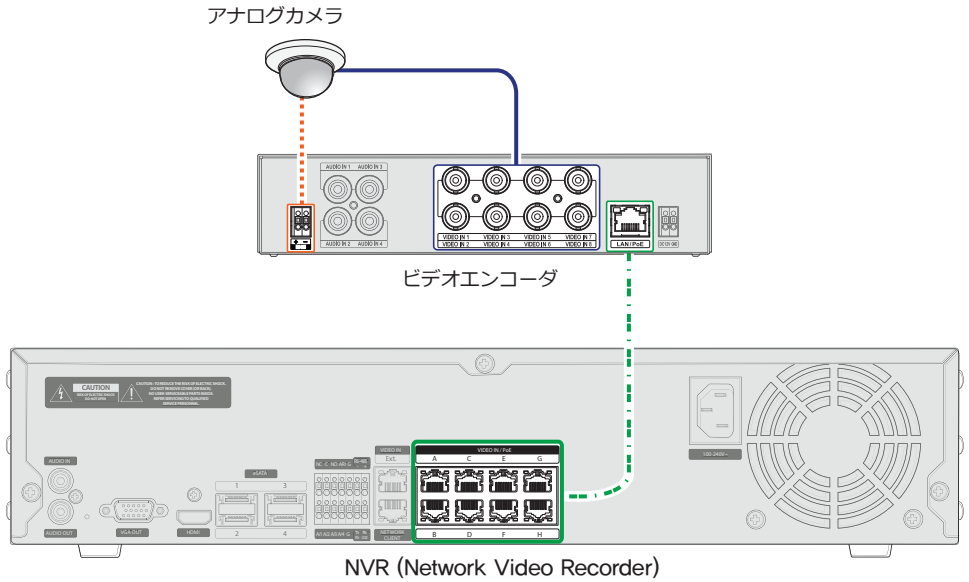
本製品は、アナログカメラのビデオ映像をイーサネットで圧縮伝送するIP技術を採用したビデオエンコーダであり、下記のような特徴があります。

- 4/8チャンネルのビデオ信号の入力に対応
- 高解像度・高画質映像のリアルタイム監視や録画に同時対応するためのマルチストリームを提供
- H.264動画圧縮アルゴリズムに対応
- 4段階の映像圧縮率および多様な圧縮解像度に対応
- DirectIP™プロトコルに対応
- ネットワークを利用した簡単なファームウェアアップグレードが可能
- システム安定化のための、ファームウェア冗長化および自動復旧機能対応
- さまざまなイベント感知機能：モーション感知、映像信号なし、タンパーリング
- 4チャンネルオーディオ入力
- RS485インターフェースによるPTZカメラの制御
- NVR(Network Video Recorder)による設定変更や複数のビデオエンコーダを統合管理






本取扱説明書は4、8チャンネルのデジタルビデオエンコーダを取り扱っています。各チャンネルビデオエンコーダは、接続可能なカメラの台数を除いては同様です。お客様のご理解を助けるため、本取扱説明書の図や説明は8チャンネルモデルを基本として作成されています。

ビデオエンコーダを利用した製品接続



ケーブルの種類

	RS485通信ケーブル
	アナログBNCケーブル
	LANケーブル(ネットワーク+PoE電源)

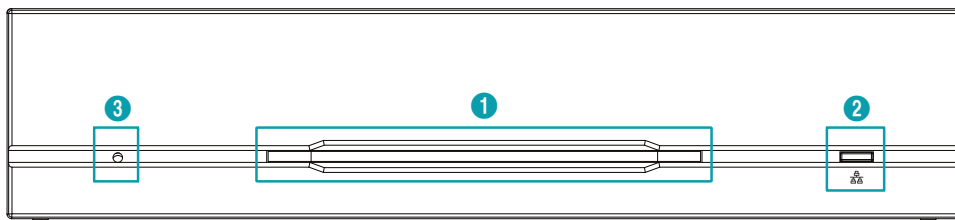
部品の確認

製品を購入したら、下記のものすべてが含まれているか確認してください。

- ビデオエンコーダ本体
- 取扱説明書
- オープンソースガイド

各部分の名称および機能

前面パネル



① 電源LED	② ネットワークLED	③ ファクトリーリセットスイッチ
---------	-------------	------------------

① 電源LED

システムの運用状態を表します。

② ネットワークLED

ネットワーク接続状態を表します。

LED状態情報

LED	状態	説明
電源LED	消灯	電源が接続されていない
	点滅	起動またはソフトウェアアップグレード中
	消灯	動作中
ネットワークLED	点滅	ネットワークに正常接続

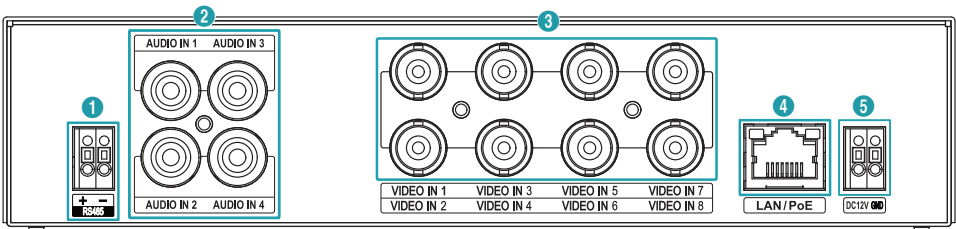
③ ファクトリーリセットスイッチ

設定値を工場出荷時のデフォルト設定に戻すときだけに使用します。製品の電源を切り、まっすぐ伸ばしたクリップでファクトリーリセットスイッチを押してください。押しながら電源を入れ、製品の内部ブザー音が二

回鳴るまでスイッチを押し続けます。押ししていたクリップをスイッチから外すと、エンコーダのすべての設定は工場出荷時のデフォルト設定の状態に戻ります。

- ・ 起動中のファクトリーリセット: 全ての設定が工場出荷時のデフォルト設定に戻ります。
- ・ 動作中のファクトリーリセット: プロトコル、システムログ以外の設定がデフォルト設定に戻ります。
- ・ ネットワークビデオ設置ツール(INIT)プログラムによるファクトリーリセット: プロトコル、システムログ、ネットワーク設定以外の設定がデフォルト設定に戻ります。
- ・ ネットワークビデオ設置ツール(INIT)プログラムによるファクトリーリセット(ネットワーク設定含み): プロトコル、システムログ以外の設定がデフォルト設定に戻ります。

後面パネル



①	RS485	②	オーディオ入力	③	ビデオ入力	④	ネットワーク+PoE電源入力
⑤	DC12V入力						

① RS485

PTZカメラを接続します。PTZカメラのTX+/RX+やTX-/RX-をネットワークカメラの+/-に接続します。

RS 485接続に関する詳細はPTZカメラの取扱説明書をお読みください。

② オーディオ入力

オーディオ入力を接続します。

③ ビデオ入力

ビデオソースを同軸ケーブルで接続します。

④ ネットワーク+PoE電源入力

RJ-45プラグを持つCat5eケーブルを接続します。本ビデオエンコーダはイーサネットコネクタを利用してネットワークに接続することができ、またNVRからDC 48Vの電源がLANケーブルを通じて供給されます。

⑤ DC12V入力

電源アダプタ(DC12V)の2本の電線を接続します。電線接続時、電源のDC12V電線と接地(GND)電線を間違えないように接続します。本ビデオエンコーダは電源ボタンがないため、電源を接続するとすぐに立ち上がります。

- ☑ RS485および電源コネクタを接続する場合、ボタンを押ししたままの穴に電線を差し込みます。確実に接続しているか確認するため、ボタンを離して電線を軽く引っ張ってください。電線を抜く場合は、上のボタンを押ししたまま電線を引き抜いてください。

- ⚠ 電源のアースは必ず接地してから使用してください。
- 電源ケーブルはきれいに配線し、足に引っかかったり家具などによってケーブルの被覆が剥がれないように注意してください。また、電源ケーブルはカーベットの下の通さないでください。
- タコ足配線は危険ですので、お止めください。

第2章 一 遠隔設定

エンコーダの基本設定を含むすべてのシステム設定を変更できます。

- ☑ 画面の画像はモデルによって異なることがあります。

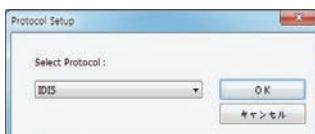
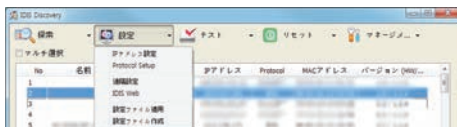
カメラのプロトコル

このエンコーダはDirectIP™プロトコルとIDISプロトコルを支援します。

- DirectIP™プロトコル:
 - DirectIP™ NVRと共にネットワーク設定なくカメラに接続することが出来ます。
 - PCなしでDirectIP™ NVRよりカメラの全ての設定を変更することが出来ます。詳しい内容はNVR取扱説明書をご参考してください。
- IDISプロトコル:
 - IDIS Discoveryプログラム又はNVRよりカメラのネットワーク設定が正しく行われた場合、ネットワーク接続を通じてカメラに接続することが出来ます。
 - DirectIP™ NVRと共に使用しない場合に適合します。

- ☑ この取扱説明書はIDISプロトコルに基づいて作成されました。

プロトコル変更



- 1 IDIS Discoveryプログラムを実行した後、メイン画面でプロトコルを変更するエンコーダを選択します。
- 2 **設定** アイコンをクリックすると現れる設定メニューで、**プロトコル設定をします** → **プロトコル設定画面**が現れます。
 - メイン画面でネットワークカメラを選択した後、マウスを右クリックして**プロトコル設定画面**を表示させることもできます。
- 3 **プロトコル設定画面**で使用したいプロトコルを選択して、OKボタンをクリックしてください。
- 4 設定が完了すると、変更したプロトコルで再起動します。

- ☑ この取扱説明書はIDISプロトコルに基づいて作成されました。

遠隔設定の実行

- 1 IDIS Discoveryプログラムを起動したあと、メイン画面で設定を変更するエンコーダを選択してください。
- 2 **設定** アイコンをクリックしてください。
- 3 **設定**メニューで**遠隔設定**を選択すると、**遠隔設定**画面が表示されます。メイン画面で**エンコーダ**を選択したあと、マウスの右クリックで**遠隔設定**画面を表示させることもできます。

- ☑ システム設定は遠隔プログラムでも変更できます。
- 通常のウェブブラウザによる遠隔設定実行はマイクロソフトインターネットエクスプローラ (Microsoft Internet Explorer)10から対応します。



遠隔設定画面で左側のメニューを選択すると、現在の設定値を表示します。メニュー下段の各項目を選択すると、該当項目の設定値を変更できます。設定値を変更した後**確認**ボタンをクリックすると、遠隔設定ウィンドウを閉じて変更された設定を適用します。

簡単設定



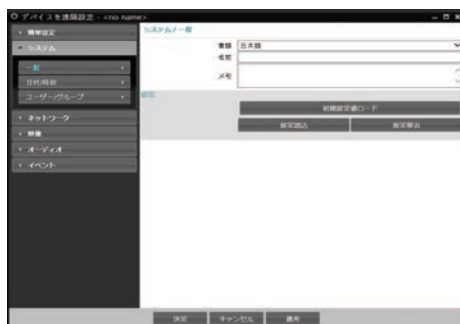
簡単設定では、エンコーダに接続されているカメラの使用時に要求される**システム、ネットワーク、ビデオ、オーディオ**などの機能に関する基本的な設定を行います。

システム



エンコーダに接続されているカメラのシステム情報を変更したりユーザーやグループを追加することができる他、設定値を読み込んだり保存することができます。

一般



システム/一般

- **言語:** 遠隔設定時に使用する言語を選択します。
- **名前:** エンコーダの名前を入力します。(スペースを含め仮名と英語の区分無しに最大31文字)
- **説明:** エンコーダに関する情報を入力します。

設定

- **初期設定値ロード:** 日付/時刻の設定以外のすべての設定値を工場出荷時の初期設定に戻すことができます。**ネットワーク設定含み**を選択すると、設定ファイルを適用する時、ネットワーク設定をすべて適用します。ネットワーク設定に関する詳しい内容は18ページの**ネットワーク**メニュー説明を参照してください。
- **設定読込:** ファイル形式で保存されている設定値を読み込み、現在のカメラに適用できます。ボタンをクリックした後、設定ファイルを選択します。**ネットワーク設定含み**を選択すると、設定ファイルの適用時、ネットワーク設定(FEN設定を除く)をすべて適用します。ネットワーク設定に関する詳しい内容は18ページの**ネットワーク**メニュー説明を参照してください。
- **設定移出:** 現在の設定を'dat'ファイルで保存できます。ボタンをクリックしてからファイル名を指定します。



- **初期設定値ロード**および**設定読込**機能は、**Administrator**グループに属するユーザーのみ使用できます。
- 設定ファイルの適用時、設定ファイルのネットワーク設定値が他のカメラで使用されている場合、**ネットワーク設定含み**の項目を選択しないで下さい。該当カメラに接続する時、正しく接続されない可能性があります。
- **設定**機能の適用時、IPアドレス、管理ポート番号およびSSL設定が変更される場合、現在の設定をすべて適用した後遠隔設定が終了されます。

日付/時刻



- **日付/時刻**: エンコーダの日付/時刻およびその表記方式を変更でき、標準時間帯および日光節約時間制を設定できます。

適用ボタンをクリックすると、変更事項を直ちに適用します。

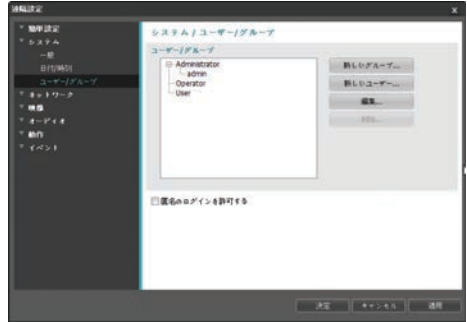
● 時間調整

- **自動調整**: システムの時間を一定の間隔ごとに自動でタイムサーバと一致させる時に選択します。タイムサーバのIPアドレス(またはドメインネーム)を入力した後、自動同期周期を設定します。時間サーバが**FEN**機能を使用する場合、**FEN使用**項目を選択して時間サーバのIPアドレス(またはドメインネーム)代わりに名前を入力することができます。
- **サーバ作動**: 当該エンコーダをタイムサーバで動作させるために選択します。他の装置が当該エンコーダの時間を読み込み、システム時間を当該エンコーダと一致させることができます。



タイムサーバを設定する時、**タイムサーバ**項目にタイムサーバのIPアドレスの代わりにドメインネームを入力するには、**ネットワーク**設定時にDNSサーバが設定されていなければなりません。または、タイムサーバのIPアドレスやドメインネームの代わりに名前を入力するには、**ネットワーク**設定時に**FEN**機能が設定されていなければなりません。

ユーザー/グループ



- **ユーザー/グループ**: エンコーダに接続されているカメラ遠隔制御のためのグループおよびユーザー設定を変更できます。

- **新しいグループ**: グループを追加できます。グループ名を指定した後、該当グループに与える権限を選択します。
- **新しいユーザー**: ユーザーを追加できます。ユーザー名を指定してから当該ユーザーが属するグループを選択した後、パスワードを設定します。
- **編集**: グループに与えられた権限を変更したり、ユーザーのパスワードを変更できます。グループまたはユーザーを選択した後、ボタンをクリックします。
- **削除**: グループまたはユーザーを削除できます。削除するグループまたはユーザーを選択した後、ボタンをクリックします。



- **ユーザー/グループ**は**Administrator**グループに属するユーザーのみ設定できます。
- **Administrator**グループの**admin**ユーザーの初期パスワードはありません。
- 設定できるグループ権限の種類と内容は次の通りです。
 - **アップグレード**: システムをアップグレードできる権限です。
 - **設定**: システムが設定できる権限です。
 - **カラーコントロール**: カメラの明るさ、対比、彩度、色調値を調整できる権限です。
 - **システム検査**: システムイベントのシステム状態を確認できる権限です。
 - **PTZコントロール**: レンズのズームを制御できる権限です。

ネットワーク



ネットワーク設定を変更したり、FENおよびセキュリティ機能の設定することができます。

IPアドレス



- **タイプ**: ネットワークに接続する時に使用するネットワークの種類を選択します。設定の変更時、現在の設定をすべて適用した後遠隔設定が終了します。
 - **手動**: 固定IPを使って接続する場合に選択し、関連項目を手動で設定できます。
 - **DHCP**: DHCPでネットワークに接続している場合に選択します。確認ボタンをクリックすると、DHCPサーバからIPアドレスなどのネットワーク情報を自動で取得します。

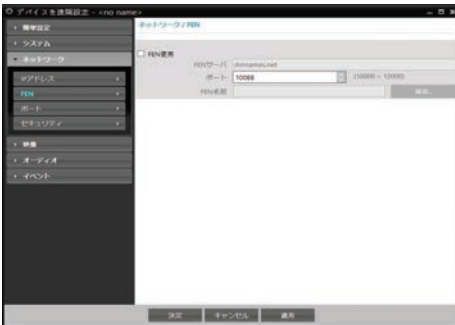
- **DNSサーバ:** DNSサーバのIPアドレスを入力します。DNSサーバを設定すると、FENサーバ、タイムサーバ、SMTPサーバの設定時、サーバのIPアドレスの代わりにドメイン名を使用できます。エンコーダがDHCPでネット枠に接続されている場合、**DHCPから取得**を選択するとDHCPサーバからDNSサーバのIPアドレスを自動に受け取ります。この場合、更新されたアドレスは次の接続時に表示されます。



- エンコーダのネットワーク接続種類および情報は、またはDNSサーバのIPアドレスはネットワーク管理者にお問い合わせ下さい。
- DHCPを使用する場合、エンコーダのIPアドレスは随時に変更される可能性があるため、**FEN**機能を使用することをお勧めします。

FEN

FEN使用を選択すると、**FEN**機能を使用することができます。



- **FENサーバ:** FENサーバのIPアドレス、またはドメイン名を入力します。
- **ポート:** FENサーバのポート番号を入力します。
- **FEN名前:** FENサーバに登録するカメラ名を入力します。**確認**をクリックして入力した名前が使用可能であるかを確認します。



- **FEN**とは、動的IPを使うカメラに接続する度に変わるIPアドレスの代わりに固有のカメラの名前をFENサーバに登録し、その名前でご該カメラに接続できるようにする機能です。また、カメラがIPルータ(あるいはNAT)を使用する場合にも、ルータなどの設定無しに接続できます。本機能を使用するためには、FEN名をFENサーバに登録しなければなりません。
- ネットワーク設定が変更される場合、設定ウィンドウ下の**確認**ボタンを押して変更値を保存してから**FEN**を設定してください。
- **FENサーバ**のIPアドレスやドメイン名は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。**ネットワーク**設定でDNSサーバを設定した場合、**FENサーバ**項目にFENのIPアドレスの代わりにドメイン名を入力できます。
- **FEN名前**項目の**確認**ボタンをクリックして、入力されたカメラの使用可能有無を確認しなかった場合は、**FEN**設定を保存できません。また、FEN名を入力しなかったりFENサーバに登録済みの名前を入力した場合はエラーメッセージが表示されます。FEN名に記号#、¥、%が含まれている場合、IDIS Webプログラムを利用して該当カメラにアクセスする際にアクセスできないこともあります。

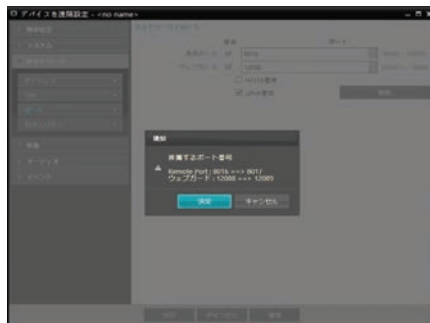


IDISが運営しているFENサーバは、お客様に便利に使っていただくためのサービスですので、サーバのアップデートやシステムの不具合などにより、サービスが予告なく中止されることがあります。

ポート



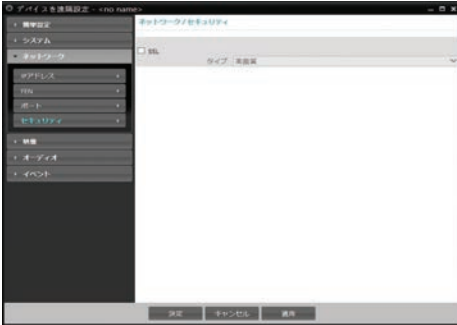
- **使用、ポート:** 該当ポートの使用の有無を選択した後、ポート番号を入力します。**遠隔ポート**と**ウェブガード**は基本的に使用するよう設定されており、使用の有無は変更できません。
- **HTTPS使用:** 項目を選択すると、IDIS Webプログラムを実行する時にIDIS WebページにHTTPSプロトコルを使ったセキュリティ機能が適用されます。
- **UPnP使用:** 項目を選択すると、エンコーダがIPルータ(或はNAT)を通じてネットワークに接続されている場合、別のIPルータ(またはNAT)を使用する場合にUPnP機能を使用してポートフォワーディング設定なしにカメラに接続できます。本機能が動作するには、IPルータ(またはNAT)においてもUPnP機能が設定されていなければなりません。IPルータ(またはNAT)におけるUPnP機能設定に関する詳しい内容は**IPルータ(またはNAT)の取扱説明書**を参照してください。**確認**ボタンをクリックすると現在のポート設定を検査します。現在のポート番号が全て使える場合、成功のメッセージが出て、使えないポート番号がある場合、以下のように推薦ポートをお知らせします。



決定ボタンをクリックすると推薦ポート番号を設定します。

- ☑ WAN環境でFEN機能を使用して映像を録画したりFENの接続が円滑に行われない場合、UPnP機能を使用してください。そうしない場合、ネットワークの構成環境によって監視や録画が円滑に行われないことがあります。
- 各ポート番号は異なる番号にしてください。ポート番号が同一の場合は設定ができません。
- ⚠ ポート番号を変更する時、遠隔プログラムのポート番号も同一に変更しなければなりません。

セキュリティ

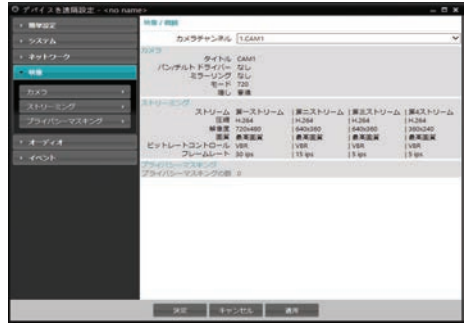


- SSL:** 項目を選択してSSL (Secure Sockets Layer) 機能を使用できます。SSL機能を使用すると外部に伝送されるデータにSSLプロトコルを用いたセキュリティ機能が適用されます。但し、SSL機能を使う時、SSLの機能がサポートされないプログラム、またはシステムでは、本ビデオサーバーに接続することができません。設定の変更時、現在の設定をすべて適用した後遠隔設定が終了します。



- SSL能を使用すると、セキュリティレベルによって外部のシステムに負荷をかけることがあります。
- この製品はOpenSSLツールキットを利用するためにOpenSSLプロジェクトによって開発されたソフトウェアを含みます(<http://www.openssl.org/>)。

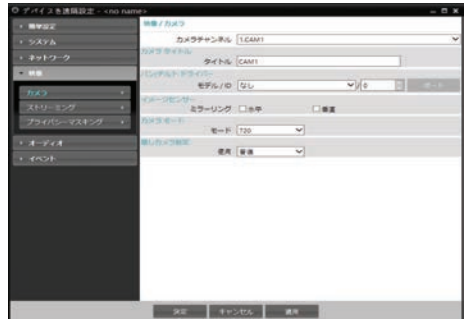
映像



カメラ、ストリーミングおよびプライバシーマスクング機能が設定できます。

カメラ

パン・チルトドライバー、イメージセンサー、カメラモードおよび隠しカメラ設定関連機能を設定します。



- カメラタイトル:** カメラ名を変更することができます。
- パン/チルトドライバー:** PTZカメラの上/下/左/右(パン/チルト)移動ができます。
- モデル/ID:** タブを選択しパン/チルトドライバーを設定しています。接続されているPTZカメラのモデルを選択した後、IDを設定します。**ポート**ボタンをクリックしてPTZカメラメーカーの指示通りにポート速度、データビット停止ビット、パリティの値を設定します。



- 重複したPTZカメラのIDは設定できません。
- パン/チルトドライバーがRS485ポートに正しく接続していない場合、パン/チルトドライバーを制御することができません。**RS485ポート**の接続関連の詳しい内容は本書の**13ページの1.RS485部分**とPTZカメラメーカーの**取扱説明書**をご参考下さい。

- **イメージセンサー:** 関連機能を設定します。
 - **ミラーリング:** **水平ミラーリング**または**垂直ミラーリング**項目を選択して、映像を水平または垂直にミラーリングします。
- **カメラモード:** エンコーダと接続されているカメラの解像度を設定します。
 - **モード:** カメラの解像度を720または960に選択します。
- **隠しカメラ設定:** ユーザーがログインしていないか、隠しカメラを見る権限のないユーザーでログインした場合、指定したカメラが表示されないように制限します。**カメラ設定 > 一般**で特定のカメラを**隠し1**または**隠し2**に設定することができます。
 - **隠し1:** 監視画面で該当カメラの映像は見えないが、そのカメラのタイトルや現在の状態を表すアイコンは通常通りに表示されます。
 - **隠し2:** 該当カメラが非活性化状態に表示されます。カメラの映像が映らず様々な状態を表すアイコンも表示されません。



隠しカメラ表示権限を有するユーザーがログインした場合、カメラが**隠し1**や**隠し2**に設定されていても隠し機能は作動せず映像や状態アイコンがすべて表示されます。

ストリーミング



- **カメラチャンネル:** 該当カメラを選択します。
- **第一ストリーム、第二ストリーム、第三ストリーム、第四ストリーム:** マルチストリーミングが支援します(優先順位: 第一ストリーム > 第二ストリーム > 第三ストリーム > 第四ストリーム)。ストリームの使用の有無を設定します。下位ストリームは上位ストリームの設定によって設定が異なってくることもあり、第三ストリームと第四ストリームは上位ストリームの設定によって解像度とフレームレートの設定を使用できないこともあります(下表を参照)。



第一ストリーム	第二ストリーム	第三ストリーム	第四ストリーム
解像度	ips	解像度	ips
720 x 480	30	720 x 480	30
640 x 360	1	360 x 240	1

- **圧縮:** ストリーミングのための映像の圧縮方法を設定します。
- **解像度:** ストリーミングのための映像の解像度を設定します。カメラモデルによって対応する解像度が異なることがあります。設定中のストリームの解像度は、上位ストリームの解像度より高く設定することはできません。
- **画質:** ストリーミングのための映像の画質を設定します。
- **ビットレートコントロール:** H.264圧縮時のビットレートコントロールモードを設定します。
 - **VBR (可変ビットレート):** 映像のモーション変更により、ビットレートを変更します。モーション変更が小さいほどネットワークの負荷及び保存容量が減ります。

- **フレームレート:** ストリーミングのための映像の転送速度を設定します。設定中のストリームの解像度と上位ストリームの解像度が同じ場合、設定中のストリームのフレームレートは上位ストリームのフレームレートより高く設定することはできません。

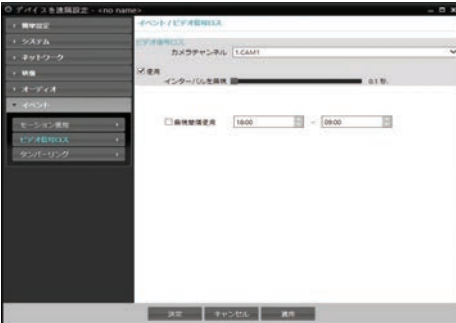


カメラに数人のユーザーが同時にアクセスする場合、ネットワーク帯域幅が増加し、フレームレート(転送速度)が低下することがあります。

-  **(選択)** /  **(解除):** プライバシーマスキングの選択と解除を選びます。ボタンをクリックした後、マウスをドラッグ&ドロップして領域を設定します。
- **No. / 名前:** 設定されたプライバシーマスキング領域のリストが表示されます。番号はプライバシーマスキング領域に表示された番号を表します。リストで番号の横のブランクを選択すると、該当領域に名前を設定できます。**削除**ボタンをクリックすると、該当領域を削除します。

プライバシーマスキング

プライバシーマスキング項目を選択すると、プライバシー保護のために特定ゾーンの監視を制限することができます。映像監視時、プライバシーマスキング機能が設定された領域は黒色で表示されます。



- **カメラチャンネル:** 該当カメラを選択します。
- **プライバシーマスキング設定:** プライバシーマスキング領域を設定します(最大16個)。

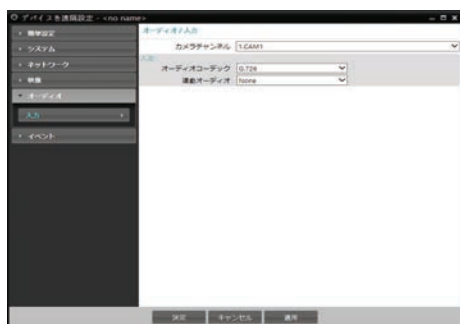


オーディオ

オーディオの入力を設定できます。



入力



- **カメラチャンネル:** 該当カメラを選択します。
- **オーディオコーデック:** オーディオコーデックを選択します。
- **連動オーディオ:** 連動するオーディオ・インを選択します。

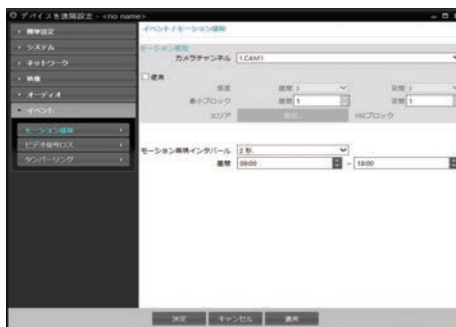
イベント

イベント感知機能を設定できます。








モーション感知

モーション感知項目を選択し、モーション感知イベントを設定します。モーション感知イベントを設定すると、設定されたエリアでモーションが感知される場合、これをイベントと見なします。



- **カメラチャンネル:** 該当カメラを選択します。
- **感度:** 昼間と夜間のそれぞれに対してモーション感知に対する感度を選択します。値が大きいほどモーションをより敏感に感知します。
- **最小ブロック:** 昼間と夜間のそれぞれに対してモーションを感知するミニマムブロックを選択します。設定されたブロック数以上モーションが発生した場合にのみ、モーションイベントとして見なします。

- **エリア:** 設定ボタンを押してモーションが感知されるエリアをブロック単位で設定します。
 -  (選択) /  (解除): モーション感知の選択と解除を選びます。
 -  (1ブロック): 個別のブロックを選択および解除します。
 -  (エリア): エリアを指定して選択および解除します。
 -  (すべて): すべてのブロックを選択および解除します。
- **モーション無視インターバル:** モーション無視インターバルを設定すると、モーションが感知された以降一定時間以内に感知されたモーションについては、イベントログを残したり通知しません。
- **昼間:** 昼間に指定する時間の範囲を設定します。指定された範囲以外の時間は夜間と見なします。

ビデオ信号ロス

ビデオ信号ロス項目を選択し、ビデオ信号ロスイベントを設定します。ビデオ信号ロスイベントを設定するとビデオ信号がない場合、これをイベントと見なします。

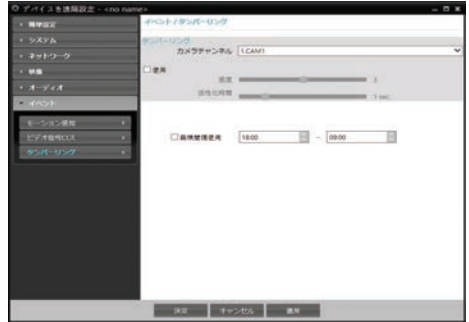


- **カメラチャンネル:** 該当カメラを選択します。
- **インターバルを無視:** 無視インターバルを設定を設定すると、ビデオ信号ロスが感知された以降一定時間以内に感知されたビデオ信号ロスについては、イベントログを残したり通知しません。
- **無視間隔使用:** イベントを無視する間隔を設定します。指定された時間の間、発生するビデオ信号ロスはイベントとして見なしません。

- イベント動作を実行するには、イベント動作関連項目が正しく設定されていなければなりません。

タンパーリング

タンパーリング項目を選択し、タンパーリング感知イベントを設定します。タンパーリング感知イベントを設定すると映像に急激な変化が生じた場合(例: カメラが動いたりレンズが遮られる場合)、これをイベントと見なします。



- **カメラチャンネル:** 該当カメラを選択します。
- **感度:** タンパーリング感知の感度を設定します。値が大きいかほど敏感に感知します。
- **活性化時間:** タンパーリング感知が発生した時、これをイベントとして感知するために持続する期間を設定します。タンパーリングが感知された後、指定された間、持続しない場合はイベントとして見なしません。
- **無視間隔使用:** イベントを無視する間隔を設定します。指定された時間の間、発生するタンパーリングは、イベントとして見なしません。

第3章 – IDIS Web

IDIS Web(WebGuard)は、インターネット上で別途のプログラムをインストールしないでネットワークカメラの映像をリアルタイムで監視したり、SDメモリーカードに保存された録画映像が検索できるプログラムで、ウェブブラウザ(インターネットエクスプローラ)を使って接続できます。

IDIS Webを実行するためには下記のPCシステムの仕様が必要です。

- OS: Microsoft® Windows® XP (Service Pack 3)、Microsoft® Windows® Vista (Service Pack 1)、Microsoft® Windows® 7 (Home Premium、Professional、Ultimate)、Microsoft® Windows® 8 (Pro、Enterprise)
- CPU: Intel Pentium III (Celeron) 600MHz以上 (Core 2 Duo E4600推奨)
- RAM: 128MB以上 (2GB推奨)
- VGA: 8MB以上 (128MB推奨) (1024x768、24bpp以上)
- Internet Explorer: バージョン6.0以上 32-bit

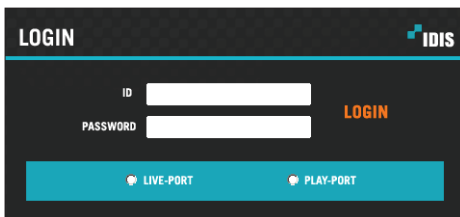
1 インターネットエクスプローラを実行してからアドレス入力欄以下の情報を入力してください。

- http://IPアドレス:ポート番号(カメラのIPアドレスおよびポートを設定する時、設定したIDIS Web接続ポート番号を入力)
- または、http://FENサーバアドレス/FEN名(FENサーバアドレスおよびFENサーバに登録されたFEN名入力)



- IDIS Webポート番号設定時**HTTPS使用**項目を選択した場合、**http**の代わりに**https**を入力します。セキュリティー認証に関する警告メッセージが表示されると、**このウェブサイトを続けて探索します(推奨しない)**を選択します。IDIS Webログインウィンドウが表示されない場合、インターネットオプションが次のように設定されているかを確認して下さい。
 - ツール → インターネットオプション → セキュリティー → レベルのカスタマイズ設定を**中-高(基本値)**または**普通**に設定
 - ツール → インターネットオプション → プロパティ → セキュリティーオプションで**TLS1.0使用**を選択
- IPアドレスとポート番号を入力して接続する場合、IDIS Web接続ポート番号が**80**(https入力の場合**443**)で設定されているとIPアドレスを入力するだけで接続できます。
- 接続したいカメラのIPアドレスおよびIDIS Webポート番号はネットワーク管理者にお問い合わせください。

2 IDIS Webログインウィンドウが表示されたら、ログインに必要なIDおよびパスワードを入力した後**LOGIN**ボタンをクリックします。

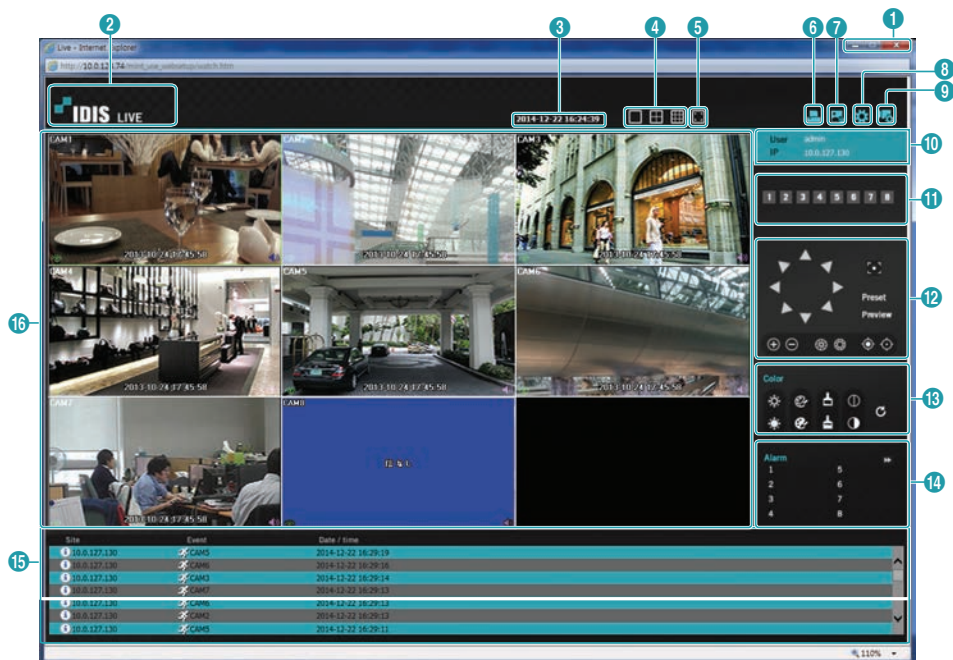

















- IDIS Webはマイクロソフトインターネットエクスプローラ(Microsoft Internet Explorer)でのみ対応し、他のウェブブラウザには対応しません。
- IDIS WebはMicrosoft® Windows® 8 OSのメトロ(Metro) UIでは動作しません。
- IDIS Webプログラムの運用中にはログインウィンドウを閉じないでください。ウェブ監視モードまたはウェブ検索モードに切り替える時にスクリプトエラーが発生し、この場合ウェブプログラムを再起動しなければなりません。
- インターネットエクスプローラ7.0でIDISWebを起動する場合、アドレスバーやステータスバーを表示すると画面下の部分が見えなくなる場合があります。この現象を解決するためにはインターネットの設定を変更し、アドレスバーやステータスバーを表示しないでブラウザを開くことをお勧めします。(ツール → インターネットオプション → セキュリティー → レベルのカスタマイズ → Webサイトがアドレスバーやステータスバーのないウィンドウを開くのを許可するのオプションを有効にするに設定)。
- マイクロソフトウィンドウズ・ヴィスタ(Microsoft Windows Vista)またはそれ以降のバージョンのOSからIDIS Webを起動する場合、インターネットエクスプローラアイコンからマウスの右側のボタンをクリックして表示するメニューから**管理者として実行**オプションを選択してください。**管理者として実行**をしないとIDIS Webプログラムの一部の機能が制限されることがあります。
- 新しいバージョンのIDIS Webを開く場合、インターネットエクスプローラで以前のバージョンの情報を読むことがあります。その場合には、**コントロールパネル → インターネットオプション → 全般**に移動してインターネット一時ファイルでファイルの削除をしてから、IDIS Webを実行してください。
- マイクロソフトウィンドウズ・ヴィスタ(Microsoft Windows Vista)またはそれ以降のバージョンのOSでは映像転送速度の低下によりIDIS Webのスクリーンの画面が表示されなかったり、更新しなかったりする恐れがあります。本症状の場合は、御使用のPCのオートチューニング機能の解除をお勧めします。管理者権限でコマンドプロンプト実行(**スタートメニュー → すべてのプログラム → コマンドプロンプト → マウスの右ボタン**を利用し、**管理者として実行**選択)。`netsh int tcp set global autotuninglevel=disable`を入力してからENTERキーを押してください。PCは再起動してから変更された設定を適用します。オートチューニング機能を再度復旧するためには管理者権限でコマンドプロンプトを実行してから**`netsh int tcp set global autotuninglevel=normal`**を入力してください。PCは再起動してから変更された設定が適用されます。

ウェブ監視モード

遠隔地の映像をリアルタイムで監視できる遠隔地ウェブ監視プログラムです。



①	を押すと IDIS Web のプログラムが終了します。
②	マウスのポインタを ログオ部分に置けば IDIS Web のバージョンを確認することができます。
③	現在の時間情報を表示します。
④	画面モードを選択します。画面モードを変更する場合、現在のスクリーンで選択したカメラが、変更されるレイアウトの1番目のセルに配置されます。
⑤	を押して映像を全体画面で見ることができます。キーボードのEscキーを押すと元の画面に戻ります。
⑥	を押して現在見ている映像をPCに接続されているプリンターで印刷します。
⑦	を押して現在見ている映像をイメージファイルで保存します。
⑧	を押して ディスプレイモード及びOSDの表示を設定することができます。ディスプレイモードを選択して映像を出力するレート进行调整することが可能であり、OSD表示リストより画面に表示するOSD情報も選択することができます。
⑨	を押して遠隔設定画面を表示してカメラの設定を変更できます。


⑩	ログイン情報を表示します。										
⑪	カメラ番号を表示します。										
⑫	<p>遠隔地のPTZカメラを制御します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●  (ONE PUSH) ボタン <ul style="list-style-type: none"> - このボタンをクリックすると、自動的に最適のフォーカスポジションを探します。 - 正確で素早く動作するため、手動焦点調節ボタンでおおよそのピントを合わせてから、ONE PUSH ボタンを押すことをお勧めします。 - Onvifプロトコルには対応していません。 ●  (ズームイン・ズームアウト) ボタン ●  (フォーカス近く・フォーカス遠く) ボタン <p><input checked="" type="checkbox"/> モデルによって対応しないこともあります。</p>										
⑬	映像の画質を調節することができます。										
⑭	 を押してカメラに接続されたアラーム・アウト装置を制御します。										
⑮	<p>下部のイベント状態ウィンドウは、カメラで感知したイベントをリストで表示します。</p> <table border="1" data-bbox="169 715 1034 785"> <tr> <td data-bbox="169 715 269 746"></td> <td data-bbox="269 715 598 746">モーション感知</td> <td data-bbox="598 715 703 746"></td> <td data-bbox="703 715 1034 746">タンパーリング</td> </tr> <tr> <td data-bbox="169 746 269 785"></td> <td data-bbox="269 746 598 785">ビデオ信号ロス</td> <td data-bbox="598 746 703 785"></td> <td data-bbox="703 746 1034 785"></td> </tr> </table>				モーション感知		タンパーリング		ビデオ信号ロス		
	モーション感知		タンパーリング								
	ビデオ信号ロス										



画面よりカメラを選択してマウスの右ボタンをクリックするとポップアップメニューを表示します。

- **カメラタイトル変更:** カメラタイトルを変更することができます。



ウェブ監視モードで変更されたカメラ名は遠隔地システムには影響を与えず、カメラ名を入力しなければ遠隔地で設定したカメラ名が画面上に表示されます。

- **オーディオオン:** カメラが設置された遠隔地とのオーディオ送受信機能を提供します。この項目を選択すると、オーディオ  ボタンが表示されます。

	スピーカーを通じてカメラが設置された遠隔地のオーディオを再生できます。
	遠隔地のオーディオ受信ができます。
×	オーディオ受信が非アクティブになります。

カメラタイトル変更 オーディオオン
画面レート ▶
マルチストリーム ▶
ブロック現象改善

16



接続した遠隔地がオーディオ受信に対応する場合、カメラスクリーンに  アイコンが表示されます。

- **画面レート:** クリーン上に見える映像の出力レートを変更することができます。
 - **画面に合わせる:** カメラスクリーンのエリアに合わせて映像を出力します。
 - **アスペクト比に合わせる:** 映像原本の比率の通りカメラスクリーンのエリアに合わせて映像を出力します。
 - **半分の大きさ(x0.5)~4倍の大きさ(x4):** 映像原本のサイズを基準に該当メニューで指定したサイズでカメラスクリーンに映像を出力します。例えば映像レートにあわせるを選択すると、原本映像の実際サイズで出力します。
- **マルチストリーム:** カメラがデュアルストリームモードに設定されている場合、好みのストリームが選択できます。
- **ブロック現象改善:** 拡大映像から見られるブロック現象を低減し、画面へ表示する映像の出力品質を向上させることができます。

第4章 - 付録

設定画面の構成図(遠隔設定)



トラブルシューティング(Q&A)

不具合	確認事項
電源LEDが点灯しません。	<ul style="list-style-type: none"> LANケーブルが接続されているか確認してください。 電源アダプタが接続されているか、またはLANケーブルがつながっているNVRの電源供給状態を確認してください。
システムがネットワークインターフェースを認識しません。	<ul style="list-style-type: none"> LANケーブルの接続状態を確認してください。 ネットワーク状態情報を表示するLEDを確認してください。

製品の仕様

型番	DE-1104	DE-1108	
ビデオ	入力	4 BNC	8 BNC
	圧縮	H.264	
	解像度	720x480(960x480)、640x360、360x240 (NTSC)	
	ビットレートコントロール	VBR	
	伝送速度	120ips @ 720x480(960x480)	240ips @ 720x480(960x480)
入力/出力	オーディオ入力	4 RCA	
	RS485	1ポート	
	イーサネット	10M/100Mbps	
	DC12V入力	ターミナルブロック	
	LED	電源(状態)、ネットワーク	
	ボタン/スイッチ	ファクトリーリセット	
環境条件	動作温度	0°C~40°C	
	動作湿度	0% ~ 90% (結露なきこと)	
規格	サイズ(W x H x D)	200mm x 44mm x 153mm (突起物含まず)	
	本体の重量(約)	0.84kg	
	電源	DC12VまたはPoE (IEEE802.3af class3)	
	消費電力	Max.12W	
	認証	FCC、CE	



本製品の仕様は製品の質を高めるために事前の予告なく変更される場合があります。

